



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年8月1日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ヤマタネ
 コード番号 9305 URL <https://www.yamatane.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 河原田 岩夫
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部経理部長 (氏名) 渡辺 健太郎 (TEL) 03-3820-1111
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績(2025年4月1日~2025年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期第1四半期	22,131	18.6	2,015	302.8	2,161	257.8	1,439	167.0
2025年3月期第1四半期	18,660	35.2	500	△46.4	604	△43.4	539	△56.3

(注) 包括利益 2026年3月期第1四半期 2,391百万円(△31.7%) 2025年3月期第1四半期 3,500百万円(△7.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	65.72	—
2025年3月期第1四半期	26.37	—

(注) 当社は2025年6月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期第1四半期	167,642	59,311	35.4	2,720.72
2025年3月期	167,044	58,384	35.0	2,637.73

(参考) 自己資本 2026年3月期第1四半期 59,311百万円 2025年3月期 58,384百万円

(注) 当社は2025年6月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり純資産を算定しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	40.00	—	65.00	105.00
2026年3月期	—	—	—	—	—
2026年3月期(予想)	—	25.00	—	37.50	62.50

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2. 当社は2025年6月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2025年3月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。2026年3月期(予想)については、当該株式分割後の数値を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2026年3月期(予想)の年間配当金は、125.00円となります。

3. 2026年3月期の連結業績予想(2025年4月1日~2026年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	42,960	12.25	3,430	130.34	3,370	135.61	2,680	174.65	122.61
通期	88,870	9.82	5,520	46.02	5,300	45.20	4,870	57.50	222.81

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

2. 当社は2025年6月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。これに伴い、2025年3月期の連結業績予想における、1株当たり当期純利益については、当該株式分割の影響を考慮しております。なお、株式分割前基準での1株当たり当期純利益は、第2四半期(累計):245.23円、通期:445.62円となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、(添付資料) 8 ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期1Q	22,688,362株	2025年3月期	22,688,362株
2026年3月期1Q	888,318株	2025年3月期	554,184株
2026年3月期1Q	21,902,239株	2025年3月期1Q	20,444,378株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

(注) 当社は2025年6月1日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2025年3月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況	2
(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	7
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
(収益認識関係)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期連結累計期間の経営成績の概況

当社グループの当第1四半期連結累計期間(2025年4月1日～2025年6月30日)のわが国経済は、全体として緩やかな回復基調を維持いたしました。雇用・所得環境の改善が続く中で、個人消費は持ち直しの動きを見せました。しかしながら、物価上昇の継続や米国の通商政策等の外部要因が、今後の経済動向に影響を与える可能性があり、依然として先行きは不透明な状況が続いています。

そのような状況下で当社グループの経営成績は、物流カンパニーでは海外引越の取扱いが前期を上回って推移し、食品カンパニーではコメ卸売販売業においてコメ不足の影響で販売単価が大きく上昇したこと等により、売上高は221億31百万円(前年同期比18.6%増)となりました。営業利益は、物流カンパニーにおける外注コストや人件費増の価格転嫁が進んだこと、及び前期に計上した本牧埠頭新倉庫の不動産取得税がなくなったこと、加えて食品カンパニーのコメ卸売販売業で安定供給を図りながら適宜適切に価格転嫁を進めたこと等により20億15百万円(同302.8%増)となりました。経常利益は支払利息が増加した一方で、受取配当金が増加したこと等により21億61百万円(同257.8%増)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前期に計上した投資有価証券売却益はなかったものの、本年2月に連結子会社であった山種不動産株式会社を吸収合併したことに伴い非支配株主に帰属する四半期純利益がなくなったこと等から14億39百万円(同167.0%増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

<物流カンパニー>

物流カンパニーでは、国際業務において、海外引越を中心として取扱件数は前年同期を上回りましたが、国内業務において、倉庫事業で一部荷主の解約がありました。この結果、売上高は62億29百万円(前年同期比1.1%減)となりました。一方で営業利益は、庸車費用等の外注コストや人件費増の価格転嫁が進んだことに加えて、取扱量に応じた流動的な人員配置をしたこと、前期6月に竣工した本牧埠頭新倉庫の不動産取得税の計上がなくなったこと等により、5億57百万円(同44.2%増)となりました。

<食品カンパニー>

食品カンパニーでは、コメ卸売販売業において、原料調達が計画を下回り販売数量は15千玄米トン(前年同期比20.0%減)となりましたが、需給の逼迫に伴い販売単価が上昇したことから、売上高は93億64百万円(前年同期比52.4%増)となりました。また、加工食品卸売業の株式会社シヨクカイ(以下、「シヨクカイ」という。)において、産業給食事業向け及びデリカ事業向けの販売が堅調に推移し、売上高は49億56百万円(同6.6%増)となりました。この結果、カンパニー全体の売上高は143億20百万円(同32.7%増)となりました。営業利益は、コメ卸売販売業において、需給が逼迫する中で顧客への安定供給を図るとともに、適宜適切に価格転嫁を進めたことにより、営業利益は12億64百万円(前年同四半期は66百万円の損失)になりました。また、シヨクカイにおいて、業績が概ね計画通りに推移したことにより、営業利益は2億44百万円(前年同期比6.2%増)になりました。この結果、カンパニー全体の営業利益は15億9百万円(同821.2%増)となりました。

<情報カンパニー>

情報カンパニーでは、新規得意先獲得があったものの、汎用機基盤の開発・運用業務において請負案件が減少したことから、売上高は4億6百万円(前年同期比7.9%減)となり、営業利益は9百万円の損失(前年同四半期は3百万円の損失)となりました。なお、情報カンパニーでは棚卸用ハンディターミナル及び同サービス専用アプリのレンタル事業において、売上・利益とも棚卸の集中する第2・第4四半期連結会計期間に増加する傾向にあります。

<不動産カンパニー>

不動産カンパニーでは、高稼働率を維持したことに加え、前期に取得した賃貸物件が寄与し、売上高は11億74百万円(前年同期比4.3%増)となりました。営業利益は、前期取得物件の寄与に加え、修繕費の減少等もあり、5億28百万円(同11.3%増)となりました。

(2) 当四半期連結累計期間の財政状態の概況

①資産

資産合計は、減価償却等による有形固定資産や無形固定資産の減少がありましたが、時価評価による投資有価証券の増加等から、前連結会計年度末比5億98百万円増加し、1,676億42百万円となりました。

②負債

負債合計は、運転資金調達のための短期借入金の増加や有価証券の時価評価による繰延税金負債の増加等がありました。返済による長期借入金の減少等から、前連結会計年度末比3億29百万円減少し、1,083億30百万円となりました。

③純資産

純資産合計は、配当金の支払による利益剰余金の減少がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上やその他有価証券評価差額金の増加等から、前連結会計年度末比9億27百万円増加し、593億11百万円となりました。

この結果、自己資本比率は35.4%（前連結会計年度末は35.0%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

本日（2025年8月1日）公表いたしました「2026年3月期第2四半期連結業績予想及び2026年3月期通期業績予想の修正に関するお知らせ」において記載のとおり、2026年3月期の業績につきましては、食品カンパニーのコメ卸売販売業において、需給の逼迫に伴う販売単価の上昇が想定以上に継続する中で安定供給を図りながら適宜適切に価格転嫁を進めたことや、物流カンパニーの国際業務において、海外引越を中心に好調に推移していること等により、売上高及び各利益面で計画を上回って推移しております。この結果、第2四半期連結業績予想を上方修正することといたしました。

通期連結業績予想につきましても、物価上昇に伴うコスト増加やコメ卸売販売業における令和7年産米の需給環境など先行き不透明な状況ではありますが、各事業とも第3四半期以降は、概ね計画通り推移すると見込み、第2四半期連結業績予想の修正を踏まえて上方修正することといたしました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,983	6,064
売掛金及び契約資産	9,414	8,238
電子記録債権	477	509
リース投資資産	3,734	3,719
棚卸資産	5,032	4,644
その他	1,270	1,765
貸倒引当金	△34	△41
流動資産合計	24,878	24,899
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	31,388	30,907
工具、器具及び備品(純額)	5,515	5,514
機械装置及び運搬具(純額)	1,932	1,845
土地	61,012	61,012
建設仮勘定	316	360
その他(純額)	244	242
有形固定資産合計	100,409	99,881
無形固定資産		
のれん	4,649	4,547
顧客関連資産	6,973	6,886
その他	1,310	1,330
無形固定資産合計	12,932	12,763
投資その他の資産		
投資有価証券	26,316	27,762
その他	2,519	2,354
貸倒引当金	△55	△55
投資その他の資産合計	28,779	30,061
固定資産合計	142,121	142,707
繰延資産	44	35
資産合計	167,044	167,642
負債の部		
流動負債		
営業未払金	5,329	5,038
短期借入金	7,700	8,200
1年内返済予定の長期借入金	8,847	8,847
1年内償還予定の社債	10,979	10,979
その他	4,438	4,266
流動負債合計	37,295	37,333
固定負債		
社債	7,429	7,429
長期借入金	41,950	41,300
再評価に係る繰延税金負債	4,965	4,965
繰延税金負債	7,193	7,601
退職給付に係る負債	1,566	1,546
資産除去債務	2,683	2,687
受入保証金	4,462	4,354
その他	1,113	1,112
固定負債合計	71,364	70,997
負債合計	108,660	108,330

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,555	10,555
資本剰余金	3,167	3,167
利益剰余金	28,141	28,861
自己株式	△536	△1,280
株主資本合計	41,328	41,304
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,545	14,518
繰延ヘッジ損益	197	176
土地再評価差額金	3,326	3,326
退職給付に係る調整累計額	△13	△13
その他の包括利益累計額合計	17,055	18,007
純資産合計	58,384	59,311
負債純資産合計	167,044	167,642

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
営業収益	18,660	22,131
営業原価	16,614	18,491
営業総利益	2,046	3,640
販売費及び一般管理費	1,545	1,625
営業利益	500	2,015
営業外収益		
受取配当金	272	374
その他	9	17
営業外収益合計	281	391
営業外費用		
支払利息	161	230
その他	15	15
営業外費用合計	177	245
経常利益	604	2,161
特別利益		
固定資産売却益	1	2
投資有価証券売却益	451	-
その他	-	0
特別利益合計	452	3
特別損失		
固定資産除却損	0	4
特別損失合計	0	4
税金等調整前四半期純利益	1,055	2,160
法人税等	438	721
四半期純利益	617	1,439
非支配株主に帰属する四半期純利益	78	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	539	1,439

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2024年4月1日 至2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2025年4月1日 至2025年6月30日)
四半期純利益	617	1,439
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,810	972
繰延ヘッジ損益	71	△21
退職給付に係る調整額	0	0
その他の包括利益合計	2,882	951
四半期包括利益	3,500	2,391
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,199	2,391
非支配株主に係る四半期包括利益	300	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

一部の子会社を除き、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。ただし、見積実効税率を使用できない会社については、法定実効税率を使用しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却費は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
減価償却費	748 百万円	770 百万円
のれんの償却費	101 "	101 "

(セグメント情報等の注記)

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流関連	食品関連	情報関連	不動産関連			
売上高							
外部顧客への売上高	6,299	10,793	441	1,125	18,660	—	18,660
セグメント間の内部 売上高又は振替高	200	18	72	21	313	△313	—
計	6,499	10,812	514	1,147	18,973	△313	18,660
セグメント利益 又は損失(△)	386	163	△3	474	1,021	△521	500

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△421百万円、のれん償却額△101百万円及び未実現利益調整額0百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	物流関連	食品関連	情報関連	不動産関連			
売上高							
外部顧客への売上高	6,229	14,320	406	1,174	22,131	—	22,131
セグメント間の内部 売上高又は振替高	197	20	86	8	313	△313	—
計	6,426	14,341	493	1,183	22,445	△313	22,131
セグメント利益 又は損失(△)	557	1,509	△9	528	2,585	△570	2,015

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額には、各報告セグメントに配分していない全社費用△471百万円、のれん償却額△101百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	物流関連	食品関連	情報関連	不動産関連	
国内物流	4,982	—	—	—	4,982
国際物流	921	—	—	—	921
玄米卸売販売	—	969	—	—	969
精米卸売販売	—	4,944	—	—	4,944
加工食品卸売販売	—	4,553	—	—	4,553
システム開発、保守等	—	—	417	—	417
棚卸支援機器レンタル	—	—	7	—	7
その他	47	325	16	32	421
顧客との契約から生じる収益	5,951	10,793	441	32	17,218
その他の収益	348	—	—	1,093	1,441
外部顧客への売上高	6,299	10,793	441	1,125	18,660

当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	物流関連	食品関連	情報関連	不動産関連	
国内物流	4,731	—	—	—	4,731
国際物流	1,094	—	—	—	1,094
玄米卸売販売	—	1,942	—	—	1,942
精米卸売販売	—	7,011	—	—	7,011
加工食品卸売販売	—	4,870	—	—	4,870
システム開発、保守等	—	—	399	—	399
棚卸支援機器レンタル	—	—	6	—	6
その他	45	496	0	22	565
顧客との契約から生じる収益	5,871	14,320	406	22	20,622
その他の収益	357	—	—	1,151	1,509
外部顧客への売上高	6,229	14,320	406	1,174	22,131